

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	555 菜の花プロジェクト	会計	01	一般会計
基本	43 伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	款	06	農林業費
策		5 新たな農業の展開	項	01
		目	03	農業振興費
		細目	120	地域バイオマス利活用推進事業
		細々目	02	循環型農業実現モデル推進事業
基本計画該当頁		163		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 160100	評価者	上田賢博	
	名称 農林振興課	氏名	連絡先	22 - 9665 (内線) 2710

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
環境にやさしい循環社会(農業)の確立、遊休農地の有効利用、農村地域の景観向上とグリーンツーリズムの推進、食育の推進、バイオマスタウンの推進 (※対象件数)	菜の花(菜種油)を中心とした資源循環システムが出来る。遊休農地が減る。農村地域の景観が向上する。軽油の代換にBDFが製造される。遊休農地などに菜の花を栽培し菜種油を搾油することで地域で産地消や特産品とする。
根拠法令・要綱等	
開始年度 平成 19 年度	関連事業 バイオマスタウン推進事業・遊休農地再生活用事業・産地消・食育推進
終了年度 平成 年度	
事業内容	地域資源循環モデルの構築と、環境に優しい農業を実践することで伊賀の農産物のブランド化を推進する。 ハード整備は ①BDFプラント整備(20年度からの繰越)
	20年度のハード整備が3ヶ月諸事情で遅延した。 状況変化等

整備内容

1 建設用地	①伊賀市ゆめが丘市有地 ②甲野市有地
2 建設面積(延床面積)	①60平米 ②740平米(既存ストック改修)
3 規模・構造	①鉄骨 ②鉄骨
4 総事業費	129,437 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	①日本ソフトウェアサービス(株) ②社)大山田農林業公社
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	①6,090 ②7,203 千円
4 市内の類似施設	*委託料は別事業(ふるさと雇用交付金)

事業種別	継続	補助	事業類型	II	施設の建設	2次評価対象分
------	----	----	------	----	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
菜の花植栽(遊休農地解消)面積	a	目標 500	目標 500	500	500
		実績 1000	実績 2,000		
実行委員会開催回数	回	目標 5	目標 5	5	5
		実績 0	実績 4		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
菜の花植栽面積	面積イコール実績となる。	a	目標 50	目標 500	2000	2000
			実績 1000	実績 2,000		
搾油量	生産量を指標とする	ℓ	目標	目標	1,000	2,000
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	環境にやさしい農業、循環社会の実現は行政が率先して関与すべき事業である。遊休農地の有効利用や廃棄物(廃食油)を資源として再生する事業は受益の範囲が不特定多数の市民に及ぶ。
有効性	4	資源循環・再生のモデルであり、それぞれの循環地点で事業にかかわる不特定多数の市民に受益が及ぶ。
達成度	3	菜の花栽培面積は目標を大きく上回った。20年度のハード整備が約3ヶ月遅延した。
効率性	4	農水省、総務省の交付金メニューを組み合わせることで一般財源の支出を極力抑制する。ハード整備の運営委託料に国の支援メニューを活用し市費の支出を抑制する。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	一般財源の支出を最小限にするため、国の交付金メニューなどを積極的に活用する。

進捗状況	年度	21	22	23	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容								
					事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
委託	↔				補助金			(千円) 680	【BDFプラント整備】			(千円) 832	【BDFプラント整備】			(千円) 5,000	ソフト事業			(千円) 5,000	ソフト事業費			(千円) 5,000				(千円) 5,000
						BDFプラント設計業務委託			7,980	BDFプラント整備工事費			15,635	BDFプラント整備工事費			24,990	BDFプラント機械器具			1,300	ソフト事業(旅費・需用費等)			2,000	ソフト事業(旅費・需用費等)		
工事	↔				補助金			700	【搾油施設整備】			0	【搾油施設整備】			0	搾油施設設計業務委託			0	搾油施設設計業務委託			0	搾油施設整備工事費			0
						BDFプラント機械器具			0	BDFプラント機械器具			2,000	搾油施設設計業務委託			0	搾油施設整備工事費			22,400	搾油施設設計業務委託			0	搾油施設整備工事費		
進捗率(%)					事業費計(A)	Σ	680	事業費計(A)	Σ	9,512	事業費計(A)	Σ	120,925	事業費計(A)	Σ	5,000	事業費計(A)	Σ	5,000	事業費計(A)	Σ	5,000	事業費計(A)	Σ	5,000	事業費計(A)	Σ	5,000
事業投入人員					人件費(B)		人	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.0	人	0	
トータルコスト(A)+(B)							680			10,952			123,085			7,160			7,160			7,160			5,000			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	680	9,512	120,925	5,000	5,000	5,000
Aの財源内訳	国庫支出金		4,755	68,162	2,500	2,500
	県支出金	680				
	地方債		4,100	39,700		
	受益者負担					
	その他					
一般財源	0	657	13,063	2,500	2,500	5,000
計	680	9,512	120,925	5,000	5,000	5,000
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	農山漁村再生モデル支援事業(1/2補助)と、民間団体資金(補助金と同額)を利用したため一般財源の支出は	【国】農産漁村活性化対策整備交付金50/100【地方債】市対象事業内容×0.95	【国】農産漁村活性化対策整備交付金50/100、地域活性化・生活対策臨時交付金7,700【地方債】市対象事業内	【国】農産漁村活性化対策整備交付金50/100【地方債】市対象事業内容×0.95	【国】農産漁村活性化対策整備交付金50/100【地方債】市対象事業内容×0.95